

言葉と音楽～箕作秋吉を歌い継ぐ

音楽の「茅産地消」

茅ヶ崎ゆかりの作曲家の音楽を地元演奏家で聴く

2023年11月5日(日)

13:30開場 14:00時開演

会場：スタジオ・ベルソー (茅ヶ崎駅南口徒歩3分)

主催：湘南クラシック音楽を愛する会



箕作秋吉 みつくりしゅうきち
(1895-1971) 戦後茅ヶ崎に居住。松尾芭蕉の代表的な俳句10句を用いた歌曲「芭蕉紀行集」を作曲、日本的和声を追求した実験的な作品で代表作となる。映画音楽、放送音楽、校歌、社歌、童謡の分野でも活躍。横浜高校校歌は甲子園の名曲として親しまれている。

<出演>

竹村淳 (バリトン) 小田切一恵 (ソプラノ) 伊坪淑子 (ピアノ)

劇団湘南山猫 (劇中歌) 栃内まゆみ (ピアノ)

<第一部>

箕作秋吉作品

『亡き子に三部作』より「悲歌」(沙良峰夫作詞) ソプラノ

『花に因んだ三つのピアノ曲』より「さくらさくら」〈ピアノソロ〉

『芭蕉紀行集』10句 バリトン

栃内まゆみ作品

俳句&新曲コラボレーション (句：山田径子) ソプラノ & バリトン

第1曲：昼は日を 第2曲：燕来る 第3曲：十月の 第4曲：冬が来る 第5曲：若葉揺れ

箕作秋吉作品

童謡「お月さま」(深尾須磨子作詞) ソプラノ

童謡「なんでもハイハイちゃん」(小林純一作詞) ソプラノ

童謡「叱られ坊主」(サトウ・ハチロー作詞) ソプラノ

横浜高校校歌(尾山篤二郎作詞) バリトン

茅ヶ崎一中校歌(前田鐵之助作詞) ソプラノ & バリトン

栃内まゆみ作品

劇団湘南山猫オリジナル音楽劇(詩：宮澤賢治)より 劇中歌：劇団湘南山猫、ピアノ：栃内まゆみ

宮澤賢治『注文の多い料理店』より「風の唄」 同『鹿踊りのはじまり』より「ああいいな せい

せいするな」「のはらのまん中のめっけもの」

<第二部>

近藤浩平作品

歌曲集『木にかえる』作品77より「木にかえる」

『いつか夢になるまで』～家の中にとどまる音楽家たちのために～無伴奏バリトン短縮版

『ひとのふるさと』作品144 ソプラノと左手のピアノの為のヴァージョン ソプラノ

山田耕筰作品

「からたちの花」「この道」「かやの木山の」「砂山」(北原白秋作詞) バリトン

「酸模の咲く頃」(北原白秋作詞) 「電話」(川路柳虹作詞) ソプラノ

「赤とんぼ」(三木露風作詞) 「あわて床屋」(北原白秋作詞) ソプラノ & バリトン

料金：3,000円

主催：湘南クラシック音楽を愛する会

御予約、問い合わせ：

090-3695-5450 shonan.classic@gmail.com (藤本)

※定員80人 ※未就学児入場可(静かに聴けること)

※プログラム、出演者は予告なく変更する場合があります。



スタジオ・ベルソー
(茅ヶ崎駅南口徒歩3分)

竹村 淳 たけむら あつし (バリトン)

国立音楽大学声楽科卒業。ウィーン芸術学校に学ぶ。NHK 洋楽オーディション、ウィーン・アートコー・オーディション合格。国際芸術連盟新人オーディション最優秀新人賞、全日本ソリストコンテスト優秀賞他、国際コンクールに入賞。'98年オーストリア留学。ウィーンを拠点とし、'08年に帰国後も国内外で活躍。ウィーン・オペラ・カンパニー所属。横浜シティオペラ、横浜音楽文化協会各理事。日本カール・レーヴェ協会幹事。



小田切 一恵 おだぎり かずえ (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。第2回座間日本歌曲コンクール第3位。第2回東京音楽コンクール、並びに第40回イタリア声楽コンクール入選。オペラでは、藤原歌劇団公演「フィガロの結婚」の他、「魔笛」、「コシファン・トゥッテ」、「リゴレット」、「ラ・ボエーム」、「こうもり」、「トゥーランドット」、「道化師」、「ドン・ジョヴァンニ」、「ルサルカ」等に出演。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会、横浜シティオペラ各会員。



伊坪 淑子 いつぼ よしこ (ピアノ)

フェリス女学院大学音楽学部ディプロマコース修了。桐朋学園大学音楽学部ディプロマコース修了。パリ・エコールノルマルに留学。パリのナポレオンが眠るアンヴァリッド前の広場でのコンサートがフランス全土で放映された。帰国後は、主にフランス歌曲やオペラ等の演奏に取り組んでおり、著名なイタリア人歌手マスターコースの伴奏も務めている。日本声楽家協会、二期会イタリアオペラ研究会ピアニスト、聖徳大学兼任講師



箕作 秋吉 みつくり しゅうきち (作曲家 1895~1971)

東京都文京区に生まれる。東京帝国大学工学部を卒業後ドイツに留学し物理化学を学ぶ傍らゲオルク・シューマンに和声学を学ぶ。1930年新興作曲家連盟(日本現代音楽協会)を創設し発展に尽力。五度和声論を提唱。作品に「芭蕉紀行集」等の歌曲の他、「小交響曲」(ワインガルトナー賞受賞)、「ヴァイオリンと管弦楽のためのソナタ」、「ピアノ協奏曲」(尾高賞受賞)、映画・放送音楽、校歌、童謡、労働歌(世界をつなげ花の輪に)等。

近藤 浩平 こんどう こうへい (作曲家)

ベルリン・ドイツ・オペラ<Klang der Welt Ostasien>作曲コンクール第2位(室内楽)。左手のピアノ曲は館野泉氏、智内威雄氏による演奏機会が多く館野泉氏によりベルリン・フィルハーモニーカンマームジークザールでも演奏された。「海辺の祈り-震災と原子炉の犠牲者への追悼」は世界各地で再演150回を超える。映画「にしきたショパン」の左手のピアノ曲も作曲している。茅ヶ崎との縁が深く茅ヶ崎をモチーフにした曲を多く手がけている。2022年には茅ヶ崎にて12人の演奏家の参加による近藤浩平音楽フェスティバルが開催された。http://koheikondo.com



山田 径子 やまだ けいこ (俳人)

東京大学教養学部アメリカ分科卒業。「東大女子学生によるベルサイユのぼら」公演に出演し、テーマ曲を作曲。カールトン大学カナダ研究院修士。1980年、中原道夫らと共に、福永耕二の指導句会に参加。1985年「未来図」入会、鍵和田柚子に師事。2004年、「未来図賞」受賞。柚子没後、後継誌「磁石」同人会長。著書に句集『無限階段』『径』『楓樹』、句文集『日時計』。俳人協会会員。



劇団湘南山猫

大人から子どもまで楽しめて味わい深く、低料金の舞台をめざし1992年に旗揚げ。童話や民話を脚色・作曲したオリジナル音楽劇を劇場・小学校体育館等で公演。神奈川県ボランティア活動奨励賞、安藤為次記念賞を受賞。

作品に『ブレーメンの音楽隊』『100万回生きたねこ』『注文の多い料理店』『じごくのそうべえ』『王さまの耳はロバの耳』『鹿踊りのはじまり』他。2023年、詩人・山尾三省 追想公演『星の路』に出演。



栃内 まゆみ とちない まゆみ (作曲家)

慶応義塾大学仏文科卒。ピアノを岩村充起、中沢万里子、作曲を川崎優の各氏に師事。作詞作曲の「川にそって歩く唄」(1991年川の浄化運動に選曲)を福島の子供達支援の募金CDに再録音。1992年より有志と劇団湘南山猫を旗揚げし作曲、演奏を担当。劇場や学校で公演。2021年より詩人・山尾三省 追想公演『星の路』に参加。金の鳥音楽協会、日本童謡協会会員。藤井ようこと福島応援隊メンバー。箕作秋吉は祖父。

